

手づくりハザードマップで水害に備える

手づくりハザードマップとは、住民が水害を自らの問題と捉え、早期避難のポイントをマップにする取り組みです。本市ではいつ起こるか分からない豪雨災害に対する、“命を守る”ための備えとして、住民が主体となって手づくりハザードマップの作成を行っています。
手づくりハザードマップで地域の水害特性を理解し、実際に水害が起きた時の、正しい判断・行動につなげましょう。

手づくりハザードマップと水害ハザードマップの違い

	手づくりハザードマップ	水害ハザードマップ
主体	住民(町内会)	行政
内容	地形(標高)、水に浸かりやすい場所、安全な避難経路等	想定し得る最大規模の浸水区域や浸水深、避難所等
活用方法	自宅やその周辺の安全な避難ルートや避難のタイミングを知り、早期の判断と行動に役立てる	想定し得る最大規模の水害リスクと避難所等について知り、実際の水害に備える

手づくりハザードマップに記載されている事項

保存版 安城市 古井町 町内会 水害手づくりハザードマップ 2021年9月 古井町自主防災会

安全と思われる避難経路
1 ガードレール無し
2 ガードレール無し
3 ふみ廻り 自動車通行不可
4 ガードレール無し
5 ガードレール無し
6 排水溝の掃除
7 ガードレール無し

避難所や一時避難所
祥南小学校
大規模水害時の避難所の避難所は祥南小学校です。古井新町・古井住宅が作成したマップも確認しよう。

水に浸かりやすい場所・水の流れ
8 大雨時は、排水溝は、行方不明
9 大雨時は、排水溝は、行方不明

地域の今後の課題
古井町の今後の課題と目標
●浸水危険の高い家に、一番に逃げるように注意を促す
●一斉清掃時、排水溝の掃除をしっかりと行う
●電柱に標高看板を付けて懸架付けをする

地域の全員に伝えたいコメント
このマップは、水害時に気をつける点や取るべき行動について、町内会ごとにまとめたものです。よく目にするところに張り、普段から家族や近隣の人たちと話し合ひましょう。祥南小学校や一時避難所へ歩いて避難するときは、緑色の矢印に沿って避難しましょう。

市町村の水害ハザードマップの記載内容
このマップは、水害時に気をつける点や取るべき行動について、町内会ごとにまとめたものです。よく目にするところに張り、普段から家族や近隣の人たちと話し合ひましょう。祥南小学校や一時避難所へ歩いて避難するときは、緑色の矢印に沿って避難しましょう。

標高
5.0m 地域の最大浸水深は矢作川3m~5mです
3.0m
1.0m
0.3m
早めの避難を心がけて!

地域で共有したい情報
安城市緊急災害情報 西尾水防隊の24時間 緊急対応 気象庁
https://city/anai/ 西尾水防隊の24時間 緊急対応 https://city/anai/

避難の際の危険箇所
● 水害時の避難所 ● 一時避難所
● 避難路 ● 5.0 標高(メートル)
● 水が流れ込む方向 ● 水に浸かりやすい場所
● フタのない側溝 ● へこんでいる箇所
● 鉄板や段差、緑石など

手づくりハザードマップを作成している町内会

里(井畑・石橋含む)、篠目、二本木連合、横山、相生、城南、秋葉、古井新町、古井住宅、桜井北、藤野、城山、桜井西、姫小川(館出含む)、鹿乗、小川、三ツ川、和泉、根崎、東端、古井
※東栄、西尾、上条、東尾、城向、東町、城ヶ入



- お住まいの地域の手づくりハザードマップは、市HPに掲載されています
 - 避難が必要と考えられている50cm以上の浸水想定区域に該当する地域を優先的に進めています
- (※については今年度で作成するため、マップは来年2月頃に完成予定です。)



手づくりハザードマップを作成した感想

鹿乗町内会(本山会長)
平成25年に一度作り、令和3年に内容を更新しました。最初に作ったものは、失くしたり忘れたりしている人が多かったため、情報を更新し、新しい転入者にも配布することができて良かったです。最近、水害のニュースも多く、改めて水害について考える機会になりました。



秋葉町内会(林会長)
危険箇所を確認でき、実際の水害時にどう動いたら良いかが分かり、非常に有意義でした。



参加者
作ったマップは自宅に貼って活用したいと思います。
完成したマップを見ながら家族と災害時について話し合いたいです。